

# 事務事業評価シート

事務事業コード	013700	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	果樹振興対策事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	果樹振興対策事業費		予算事業コード	01-05-01-03-22-05	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取いなば農業協同組合又は生産組織、認定農業者若しくは果樹の担い手
意図 (どのような状態 にするために)	果樹生産の総合的な振興を図る。
手段 (どうするのか)	苗木等購入経費等の支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		果樹振興支援(新改植) 梨新品種等導入支援 柿ぶどう等新品種等 導入支援 共同利用機械導入支援	果樹振興支援(新改植) 梨新品種等導入支援 柿ぶどう等新品種等 導入支援 共同利用機械導入支援	果樹振興支援(新改植) 梨新品種等導入支援 柿ぶどう等新品種等 導入支援 共同利用機械導入支援	果樹振興支援(新改植) 梨新品種等導入支援 柿ぶどう等新品種等 導入支援 共同利用機械導入支援	果樹振興支援(新改植) 梨新品種等導入支援 柿ぶどう等新品種等 導入支援 共同利用機械導入支援	果樹振興支援(新改植) 梨新品種等導入支援 柿ぶどう等新品種等 導入支援 共同利用機械導入支援
年度別実績	補助:0件 (申請なし) 補助:2件 補助:4件 補助:1件	補助:2件 補助:6件 補助:4件 補助:1件	補助:1件 補助:11件 補助:2件 補助:0件	補助:3件 補助:7件 補助:4件 補助:0件	補助:0件 補助:5件 補助:11件 補助:2件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,420	7,726	9,716	11,364	12,435	
	直接経費 A	5,976	6,262	8,267	9,926	11,021	
	直接経費の財源内訳	国・県	5,711	5,354	6,712	8,194	10,200
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	894	860	0
一般財源	265	908	661	872	821		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	1,414		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	果樹(新品種等)の新改植面積	アール	目標	100
	(指標の説明)		実績	50.09	57.65	51.23	204.19	156.11
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P123(農007)</p> <p>【事業の概要】 果樹の生産拡大に必要な経費の支援を行うことで、果樹生産の総合的な振興を図る。</p> <p>(1) 果樹振興対策事業(単市) 5a以上の新改植経費に対し10,000円/aを上限に補助(補助率1/2) 対象：梨・柿・ぶどう・桃・ビワ・栗(対象品種：新品種・振興品種以外)</p> <p>(2) 鳥取梨生産振興事業 梨の振興品種の導入とそれに伴う基盤整備等経費の支援及び育成奨励</p> <p>(3) 鳥取柿ぶどう等生産振興事業 ぶどうの振興品種の導入とそれに伴う基盤整備等経費の支援及び育成奨励</p> <p>(4) 低コスト・体制強化事業 機械の共同利用体制を整備し、廃園防止・産地維持に取り組むための機械導入に係る経費の支援</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(1) 果樹振興対策事業(単市)：令和2年度 0件 (2) 鳥取梨生産振興事業：令和2年度 5件(新甘泉ほか苗木、かん水施設等) (3) 鳥取柿ぶどう等生産振興事業：令和2年度 11件(ぶどう苗木、果樹棚等) (4) 低コスト・体制強化事業：令和2年度 2件(草刈モア)</p> <p>平成30年度 8,267千円 令和元年度 9,926千円 令和2年度 11,021千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 果樹の栽培面積が減少している中、本事業を活用し、新品種の植栽、機械・施設の導入を進め、果樹産地を維持していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	果樹(新品種等)の新改植面積	50%	58%	51%	204%	156%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>導入誘導する品種や機械などの市場ニーズ、付加価値などを把握し、更なる農業所得の向上につながるよう、事業内容の精査を行う必要がある。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	013800	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	農産物生産振興対策等総合支援事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目録	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	農産物生産振興対策等総合支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-31-30

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地区・集落や小規模生産者等
意図 (どのような状態 にするために)	生産拡大と産地育成を総合的に行うとともに市場等への一定量の出荷を確保し、特産品化を図る。
手段 (どうするのか)	出荷に対する支援、資材等経費の支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		加工品生産投資支援 小規模生産者生産体 制整備支援 地域特産品出荷支援 ブランド農産物開発 宣伝支援 生産規模拡大支援 残留農薬検査投資支 援	特産品生産等むらづ くり支援事業 地場野菜生産振興対 策事業 地域特産品出荷支援 生産規模拡大支援	特産品生産等むらづ くり支援事業 地域特産品出荷支援 生産規模拡大支援	特産品生産等むらづ くり支援事業 地場野菜生産振興対 策事業 地域特産品出荷支援 生産規模拡大支援	特産品生産等むらづ くり支援事業 地場野菜生産振興対 策事業 地域特産品出荷支援 生産規模拡大支援	
年度別実績	補助:5件 補助:0件 (申請なし) 補助:3品目 補助:0件 (申請なし) 補助:4件 補助:10キット	補助:4件 補助:2件 補助:3品目 補助:4件	補助:4件 補助:3品目 補助:2件	補助:1件 補助:1件 補助:3品目 補助:0件	補助:1件 補助:0件 補助:3品目 補助:1件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,950	4,904	4,516	3,366	3,183	
	直接経費 A	4,803	3,747	3,361	2,445	2,222	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	112	205	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	79	0	86	0
一般財源	4,691	3,463	3,361	2,359	2,222		
人件費 B	1,147	1,157	1,155	921	961		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	臨時職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	(KPI) 推進品目総数	品目	目標	8
			実績	8	8	8	8	8
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。							
2	出荷量	t	目標	45	50	50	50	50
			実績	48	50	45	42	33
	(指標の説明) ブロッコリー、アスパラガス、生姜の出荷量							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：掲載なし</p> <p>【事業の概要】 特色ある農産物やブランド農産物など、各地域・産地に適した農産物、加工品の生産拡大と産地育成を総合的にを行い、生産振興による地域活性化を図る。</p> <p>(1) 特産品生産等むらづくり支援事業 地区、集落等が取り組む特産品開発研修、販路拡大活動、機械・資材導入支援 補助率：2/3以内(補助金上限30万円)</p> <p>(2) 地場野菜生産振興対策事業 小規模生産者が取り組む、地場野菜の生産体制の整備に要する経費への支援 補助率：1/2以内(補助金上限30万円)</p> <p>(3) 地域特産品振興対策事業 作付拡大しているブロッコリー、アスパラガス、生姜の出荷に対する支援 補助率：ブロッコリー40円/kg、アスパラガス80円/kg、生姜5円/kg</p> <p>(4) 野菜生産拡大支援事業 生産規模拡大に係る資材等の経費に対する支援 補助率：1/3以内</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(1) 特産品生産等むらづくり支援事業：1件 (2) 地場野菜生産振興対策事業：0件 (3) 地域特産品振興対策事業：ブロッコリー8.5t/アスパラ19.4t/生姜5.3t (4) 野菜生産拡大支援事業：1件</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施。 ※その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 推進品目総数	100%	100%	80%	57%	57%
	2	出荷量	107%	100%	90%	84%	66%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>現在推進している農産物の更なる振興を図ることから、振興品目総数を現状維持としたこと及びブロッコリーの生産者が減少し、生産面積が減少したことによる。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>費用対効果の検証を行い、効率的な事業運用に努め、継続実施する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	013900	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	農産物販路拡大支援事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	農産物販路拡大支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-35-05

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農産物、加工品等
意図 (どのような状態にするために)	本市の農産物の販路開拓、拡大に繋げる。
手段 (どうするのか)	関東、関西圏において農産物等のPR活動、市場ニーズや流通方法などの調査・検証を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		農林水産物等のPR活動 商談会の開催による新たな販路開拓 誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み	農林水産物等のPR活動 商談会の開催による新たな販路開拓 誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み 地域商社等の連携による販路開拓	農林水産物等のPR活動 商談会の開催による新たな販路開拓 誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み 地域商社等の連携による販路開拓	農林水産物等のPR活動 商談会の開催による新たな販路開拓 誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み 地域商社等の連携による販路開拓	農林水産物等のPR活動 商談会の開催による新たな販路開拓 誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み 地域商社等の連携による販路開拓
年度別実績	大阪中之島でのグリーンマーケットの実施によるPRと販路開拓(48回/年)と大阪でのPRイベント開催(2回) 関西圏のバイヤー等を鳥取市に招致しての商談会の実施 企業への営業活動	大阪中之島でのグリーンマーケットの実施等によるPRと販路開拓(33回/年) 関西圏のバイヤー等を対象とした商談会の実施(1回) 企業への営業活動(随時)	大阪中之島でのグリーンマーケットの実施等によるPRと販路開拓(35回/年) 関西圏のバイヤー等を対象とした商談会の実施(2回) 企業への営業活動(随時)	大阪中之島でのグリーンマーケットの実施等によるPRと販路開拓(38回/年) 関西圏のバイヤー等を対象とした商談会の実施(3回) 企業への営業活動(随時)	農林水産物等のPR活動 166件(宅配形式) 商談会の開催による新たな販路開拓(個別又はリモート商談の実施) 企業への営業活動(販路開拓(随時))	
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
直接経費の財源内訳	事業費(A+B)	9,936	18,978	13,055	15,460	13,296
	直接経費 A	6,492	15,532	9,560	14,022	11,882
	国・県	0	1,638	2,412	6,350	5,848
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,492	13,894	7,148	7,672	6,034	
人件費 B	3,444	3,446	3,495	1,438	1,414	
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	(KPI) 大手企業等とのマッチング件数	件	目標	1
			実績	1	1	1	2	1
	(指標の説明) 営業活動により大手企業等と取引が成立した件数							
2	新規販路開拓(取引成立)件数	件	目標	5	5	5	5	5
			実績	8	10	8	10	6
	(指標の説明) 販路開拓により飲食店等との新たな取引が成立した生産者の件数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P124(農009)</p> <p>【事業の概要】 本市で生産される農林水産物のイメージアップと消費拡大・販路開拓に取り組み、農林水産物のブランド化と産地育成を図る。 ・大手企業との農林水産物のマッチング(誘致企業や大手スーパー等) ・企業等のニーズ調査と実需にあった産地化への取組 ・関西情報発信拠点と連携した販路開拓 ・首都圏等向け新商品開発</p> <p>【事業の成果】 ・個別商談による小売業等との取引の成立(7件) ・宅配形式によるとっとり旬菜マルシェ等の開催(166件) ・新商品の開発(6品目) ＜実績＞ 平成30年度 9,560千円 令和元年度 14,022千円 令和2年度 11,882千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市農林水産物のPR・営業活動を引き続き実施し販路開拓を行うとともに、誘致企業や県外企業の本市への農業参入を促進し、産地化による農業振興を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]大手企業等とのマッチング件数	100%	100%	100%	200%	100%
	2	新規販路開拓(取引成立)件数	160%	200%	160%	200%	120%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>引き続き、地域商社ととっとり連携した商談会の開催や催事等への出席により新たな販路開拓を行っていくとともに、首都圏や関西圏等のニーズを産地にフィードバックし、産地化への取組を行っていく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	014000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	ふるさと村推進支援事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の まちづくり	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ふるさと村推進事業費補助金		予算事業コード	01-05-01-02-03-06	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	トットリ・アフトピア協会会員、むらづくり団体、加工グループ等
意図 (どのような状態にするために)	四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。
手段 (どうするか)	年間、900便以上の目標を掲げ、継続して実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		市報・ケーブルテレビ・市のHP・新聞等で広報 DMの送付 品目選定	市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 DMの送付 品目選定	市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 DMの送付 品目選定	市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 DMの送付 品目選定	市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 DMの送付 品目選定
年度別実績	市報(7.9,11,3月号)に掲載。パンフレットを作成し、市内の各店舗・公共施設等に設置。 過去6年間の申込み者全員にDM送付。品目の選定委員会を4月に開催し、選定基準に基づき選定。	市報(7.9,11月号)に掲載。パンフレットを作成し、市内の各店舗・公共施設等に設置。 過去6年間の申込み者全員にDM送付。品目の選定委員会を4月に開催し、選定基準に基づき選定。	市報(7.9,11月号)に掲載。パンフレットを作成し、市内の各店舗・公共施設等に設置。 過去6年間の申込み者全員にDM送付。品目の選定委員会を4月に開催し、選定基準に基づき選定。	市報(7.9,11月号)に掲載。パンフレットを作成し、市内の各店舗・公共施設等に設置。 過去6年間の申込み者全員にDM送付。品目の選定委員会を4月に開催し、選定基準に基づき選定。	市報(7.9,11月号)に掲載。パンフレットを作成し、市内の各店舗・公共施設等に設置。 過去6年間の申込み者全員にDM送付。品目の選定委員会を4月に開催し、選定基準に基づき選定。	市報(7.9,11月号)に掲載。パンフレットを作成し、市内の各店舗・公共施設等に設置。 過去6年間の申込み者全員にDM送付。品目の選定委員会を4月に開催し、選定基準に基づき選定。
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		3,910	3,476	2,006	3,211	2,884
直接経費 A		1,110	701	499	497	349
直接経費の財源内訳						
国・県		0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	1,110	701	499	497	349	
人件費 B	2,800	2,775	1,507	2,714	2,535	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	1.40	1.40	1.00	1.00	1.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	ふるさと宅配便発送数	便	目標	1000
	(指標の説明)		実績	1162	882	769	614	626
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農政係 0857-30-8302</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：掲載なし</p> <p>【事業の概要】 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を「ふるさと宅配便」として届けることにより、販路を拡大し、所得向上を図る。 9割以上を県外消費者に向けて発送しており、本市と本市産品のPRに寄与している。 ①実施回数 年3回(8月、10月、12月) ②宅配品目 鳥取市で生産される農林水産物及び加工品等 ③料 金 1便当たり4,800円</p> <p>【事業の成果】 &lt;ふるさと宅配便申込み数&gt; H30年度 769便 R 元年度 614便 R 2年度 626便</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の農林水産物のPRと販売拡大を目指し、継続して実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	ふるさと宅配便発送数	116%	88%	85%	68%	70%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>平成29年度から年4便から3便に減便、また令和元年度より送料を購入者負担にした結果、購入者の総支払額が増えたことによるもの。また、新型コロナウイルス感染症拡大による巣ごもり需要の増加で、多くの企業が同様の事業に参入し、競争が激化したため。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>事務の簡素化を図るとともに、発送個数の増加を図るため、広報も充実させていく。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	014100	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	畜産振興事業		所属名	農林水産部 農政企画課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成19年度 ~ 令和2年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施 の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	畜産振興対策事業費			予算事業コード	01-05-01-04-06-14

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	肉用牛及び乳用牛
意図 (どのような状態 にするために)	牛を飼養している農家の経営力の強化を図る。
手段 (どうするのか)	放牧料や配合飼料購入費等に対する支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	8農家 7農家 発動なし	7農家 7農家 発動なし 300頭	8農家 7農家 発動なし 239頭	10農家 7農家 発動なし	9農家 7農家 発動なし
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,609	18,043	12,183	3,434	3,615	
	直接経費 A	1,887	17,311	11,459	2,715	2,908	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,887	17,311	11,459	2,715	2,908		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	肉用牛放牧頭数	頭	目標	100
	(指標の説明)		実績	115	102	117	120	131
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】予算事業別概要目次：当初予算・P126（農014）</p> <p>【事業の概要】          優良な牛を育てる農家に対し支援することにより畜産振興及び鳥取和牛のブランド力を高め、より一層の消費拡大を図る。          (1) 肉用牛放牧奨励事業（補助率：1/10）          公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成する。          (2) 肥育素牛安定導入対策事業（補助率：1/6）          JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成する。          (3) 肥育牛・乳用牛経営体質強化対策事業（補助率：1/20）          配合飼料の購入にあたり、当該年度の輸入原料平均価格と直近3ヶ年度の輸入原料平均価格との差額を補填する。          (4) 大規模農場支援事業（補助率：定額（50千円/頭））          メガファームを整備した酪農家を対象に、牛導入経費の一部を支援する。</p> <p>【事業の成果】          (1) 肉用牛放牧奨励事業：131頭（9農家）          (2) 肥育素牛安定導入対策事業：出荷頭数340頭（7農家）          (3) 肥育牛・乳用牛経営体質強化対策事業：実績無し          (4) 大規模農場支援事業：実績無し</p> <p>&lt;実績&gt;          平成30年度 11,459千円          令和元年度 2,715千円          令和2年度 2,908千円</p> <p>【今後の課題・方向性】          本市の畜産振興を図る上で必要な事業であり継続して実施するが、より効果的な事業内容となるよう検討を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	肉用牛放牧頭数	115%	102%	117%	120%	131%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント                  (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	本市の畜産振興を図る上で必要な事業であり継続して実施するが、より効果的な事業内容となるよう県と連携し事業の推進を図っていく。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	014200	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	林産物振興対策事業		所属名	農林水産部 林務水産課	

## 1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	林産物振興対策事業費		予算事業コード	01-05-02-29-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	椎茸の生産者他
意図 (どのような状態にするために)	椎茸産地として持続的な発展を目指す。
手段 (どうするのか)	椎茸の種菌購入やほだ木購入等に対する支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	林産物振興対策事業 補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成 実績 支援件数 3件	林産物振興対策事業 補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成 実績 支援件数 2件	林産物振興対策事業 補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成 実績 支援件数 2件	林産物振興対策事業 補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成 実績 支援件数 1件	林産物振興対策事業 補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成 実績 支援件数 1件
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,131	2,534	1,264	1,128	1,018	
	直接経費 A	409	1,802	540	409	311	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	409	1,802	540	409	311		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	椎茸生産量	t	目標	26
			実績	26	26	29	31	31
	(指標の説明) 鳥取市におけるしいたけ生産量(乾換算)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P136（農034）</p> <p>【事業の概要】 林産物振興対策を行う。 1 椎茸の菌種購入の助成 2 椎茸の販売促進に関する助成 3 原木購入経費の助成 4 施設整備に要する経費の助成</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 540千円 支援件数2件 令和元年度 409千円 支援件数1件 令和2年度 311千円 支援件数1件</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して支援する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	椎茸生産量	100%	100%	104%	111%	103%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>「証王」の生産振興とブランド化を図るため引き続き支援する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	014300	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	集落営農体制強化支援事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名		集落営農体制強化支援事業補助金	予算事業コード	01-05-01-06-21-04	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	集落の水田面積の過半で経営等を行う計画を有する集落営農組織
意図 (どのような状態 にするために)	集落の農地を維持できる体制づくりを図る。
手段 (どうするのか)	組織が作成する計画(集落営農ビジョン)に沿った機械施設の整備等に要する経費を助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		集落営農ビジョンの策定	集落営農ビジョンの策定	集落営農ビジョンの策定	集落営農ビジョンの策定	集落営農ビジョンの策定	
年度別実績	集落営農ビジョン策定数 2 ・中大路深農舎の機械導入経費の一部助成 1,796千円 ・同益営農組合の機械導入経費の一部助成 2,265千円	集落営農ビジョン策定数 1 ・用瀬町美成営農生産組合の機械導入経費の一部助成 2,684千円	集落営農ビジョン策定数 1 ・佐治町つく(谷)営農組合の機械導入経費の一部助成 1,472千円 ・中大路家農舎の機械導入経費の一部助成 2,639千円	集落営農ビジョン策定数 1 ・ラプグリーン細見の機械導入経費の一部助成 1,971千円	集落営農ビジョン策定数 2 ・ラプグリーン細見の機械導入経費の一部助成 1,700千円、国分寺営農組合の機械導入経費助成6,822千円、美成営農生産組合の機械導入経費助成599千円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,227	4,880	6,284	4,128	11,242	
	直接経費 A	4,061	2,684	4,111	1,971	9,121	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,707	1,789	2,740	1,314	6,080
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	1,354	895	1,371	657	3,041		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	2,121		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	集落営農ビジョン数	件	目標	2	1	1	1	1
			実績	2	1	2	1	2
(指標の説明) 農地の集積率50%以上を目指した集落営農ビジョンの策定が要件となっている。								
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正その②・P20（農004）</p> <p>【事業の概要】 小規模農家が共同で営農を行う集落営農組織は、地域の水田農業を守る担い手として重要であり、組織化当初の経営安定を図るため、機械施設の整備などを支援する。</p> <p>【事業の成果】 機械施設整備支援 3組織 &lt;実績&gt; 平成30年度 2組織 4,111千円 令和元年度 1組織 1,971千円 令和2年度 3組織 9,121千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 高齢化が進む集落の農地を維持し、耕作放棄地とならないよう一体となって取り組む集落営農組織を支援していく必要があり、今後も県事業に合わせて実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	集落営農ビジョン数	100%	100%	200%	100%	200%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画を上回る事業を行うことができた。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	地域農業の中心となる集落営農組織等の機械導入を支援することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>集落の耕作放棄地の増加を防止し農地を維持する集落営農組織を支援するため、継続して支援する。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	014400	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	企業等農業参入促進事業		所属名	農林水産部 農政企画課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	企業等農業参入促進支援事業費補助金		予算事業コード	01-05-01-06-21-05	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	建設業等の他分野から新規参入し、農業経営の初期段階にある企業等
意図 (どのような状態 にするために)	参入時の負担を軽減することで意欲的な企業等の新規参入を促進し、担い手不足を解消するため。
手段 (どうするのか)	農業用機械施設導入経費の助成を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		農業参入企業への設備投資費用の補助	農業参入企業への設備投資費用の補助	農業参入企業への設備投資費用の補助	農業参入企業への設備投資費用の補助	農業参入企業への設備投資費用の補助	
年度別実績		農業参入企業への設備投資費用の補助 (製造業会社の大豆栽培に係る作業用機械、土木工事業会社の水稲・野菜栽培に係る作業用機械の導入支援)	農業参入企業への設備投資費用の補助(29年度は実績無し)	農業参入企業への設備投資費用の補助(30年度は実績無し)	農業参入企業への設備投資費用の補助(元年度は実績無し)	農業参入企業への設備投資費用の補助(2件、イチゴ栽培ハウス、栽培用高設ベンチの導入支援)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	10,225	732	724	719	5,930	
	直接経費 A	9,503	0	0	0	5,223	
	直接経費の財源内訳	国・県	9,503	0	0	0	5,223
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	参入法人数	法人	目標	2	1	1	1	1
				実績	2	0	0	0
2	(指標の説明) 他分野からの新規参入の法人数		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正その②・P21（農005）</p> <p>【事業の概要】 建設業等の他分野から新規に農業参入した企業等に機械、施設の整備等を支援することにより、農業の担い手不足解消を図る。</p> <p>【事業の成果】 農業参入の促進のため、農業用機械、施設整備を支援 ＜実績＞ 平成30年度 0千円 令和元年度 0千円 令和2年度 5,223千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 担い手不足解消対策の1つとして、企業の新規農業参入促進支援を行う。 なお、企業を安定的な担い手としていくためには、参入の際に事業計画の妥当性等を十分に確認するとともに、事業実施後も中途での事業撤退とならないよう、相談、指導などの取組を強化する必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	参入法人数	100%				200%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新しい担い手(企業)の農業への参入により、地域農業の振興につながることが期待されることから、継続して事業を実施する必要がある。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	014500	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農推進事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 目標の 実施の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別			平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	新規就農推進事業費		予算事業コード	01-05-01-02-10-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	とっとりふるさと就農舎および研修生
意図 (どのような状態にするために)	とっとりふるさと就農舎の研修生を安定的に確保し新規就農者への移行を推進するため。
手段 (どうするのか)	研修施設等の管理委託や研修生の生活支援等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		とっとりふるさと就農舎の研修生確保 就農意欲の高い若者を呼び込みそれらに対して研修期間中生活支援を行うことで、その定着を図り新規就農者へと育成する。	とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画：2名	とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画：2名	とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画：2名	とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画：2名
年度別実績	とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 2名 ・アドバイザー設置 4名 ・就農準備金支給 2名 ・住宅修繕助成 2名 他	とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 2名 ・アドバイザー設置 2名 ・就農準備金支給 0名 他 住宅修繕助成は29年度より廃止	とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 0名 ・アドバイザー設置 0名 ・就農準備金支給 2名 他	とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 0名 ・アドバイザー設置 0名 ・就農準備金支給 0名 他	とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 0名 ・アドバイザー設置 0名 ・就農準備金支給 0名 他	とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 1名 ・アドバイザー設置 0名 ・就農準備金支給 0名 他
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		18,815	16,675	11,974	11,811	12,182
直接経費 A		14,649	12,497	9,801	9,654	10,061
国・県		1,338	0	200	2,067	3,933
地方債		0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	13,311	12,497	9,601	7,587	6,128	
人件費 B	4,166	4,178	2,173	2,157	2,121	
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
	嘱託職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	研修生の確保数	人	目標	2
			実績	1	2	0	0	1
	(指標の説明) 当該年度に新規に就農舎に入る研修生数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P120(農002)</p> <p>【事業の概要】 農業者の高齢化、減少等の問題に対応するため、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保や円滑な就農定住を促進するための支援を行う。 また、地域農業の担い手として位置づけられる農業経営主が将来経営を移譲する親族(子)に対し、その技術や経営ノウハウ等を習得させるための研修を行う場合に支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 ①新規就農者研修及び研修用圃場等管理委託料 3,860千円 ②親元就農促進支援事業 6件 5,900千円 ＜実績＞ 平成30年度 9,801千円 令和元年度 9,654千円 令和2年度 10,061千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 高齢化、後継者不足が大きな課題となっており、就農意欲の高い者に支援を行い、荒廃農地の増加を防ぐ。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	研修生の確保数	50%	100%			50%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>目標は達成できなかったが、新規研修生1名を確保し、令和3年度から研修を開始することとなった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>農業における担い手不足の解消には、農業研修生の確保と育成が最も重要であり、今後も研修内容の充実を図っていく必要がある。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	014600	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農営農支援事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	新規就農営農支援事業費		予算事業コード	01-05-01-02-10-09	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認定新規就農者
意図 (どのような状態にするために)	青年者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため。
手段 (どうするのか)	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		新規就農者の確保 新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	新規就農者の確保 新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	新規就農者の確保 新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	新規就農者の確保 新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	新規就農者の確保 新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成などの支援を行う。
年度別実績	新規就農者の確保 ・青年就農給付金 25人 ・就農応援交付金 1人 ・農地賃借料助成 20人 ・住居家賃助成 6人	新規就農者の確保 ・青年就農給付金 22人 ・就農応援交付金 1人 ・農地賃借料助成 18人 ・住居家賃助成 3人	新規就農者の確保 ・青年就農給付金 19人 ・就農応援交付金 2人 ・農地賃借料助成 18人 ・住居家賃助成 2人	新規就農者の確保 ・青年就農給付金 16人 ・就農応援交付金 1人 ・農地賃借料助成 13人 ・住居家賃助成 2人	新規就農者の確保 ・青年就農給付金 13人 ・就農応援交付金 0人 ・農地賃借料助成 11人 ・住居家賃助成 0人	
	事業費	51,416	41,621	44,790	31,847	31,783
直接経費の内訳	国・県	49,250	39,425	42,617	29,690	27,127
	地方債	43,688	35,980	36,743	26,280	24,212
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,562	3,445	5,874	3,410	2,915
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	4,656	
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	新規就農者	人	目標	2	2	2	2	2
			実績	3	5	0	2	0
2	(指標の説明) 年度中に青年等就農計画の認定を受けた者の数	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

## 5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P121（農003）</p> <p>【事業の概要】 新規就農者の定着を図るため、経営が不安定な就農初期の支援策として給付金の給付や就農時の負担軽減のための農地賃借料助成、機械等整備助成等による支援を行う。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①青年就農給付金等補助金</td> <td style="text-align: center;">13件</td> <td style="text-align: right;">17,967千円</td> </tr> <tr> <td>②農地賃借料助成事業</td> <td style="text-align: center;">11件</td> <td style="text-align: right;">929千円</td> </tr> <tr> <td>③就農条件整備事業</td> <td style="text-align: center;">6件</td> <td style="text-align: right;">5,379千円</td> </tr> </table> <p>&lt;実績&gt; 平成30年度：42,617千円 令和元年度：29,690千円 令和2年度：27,127千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 就農時の負担を軽減し、経営の安定と農業への定着を図るため、事業の内容を見直しつつ継続して支援していく必要がある。</p>	①青年就農給付金等補助金	13件	17,967千円	②農地賃借料助成事業	11件	929千円	③就農条件整備事業	6件	5,379千円
	①青年就農給付金等補助金	13件	17,967千円							
②農地賃借料助成事業	11件	929千円								
③就農条件整備事業	6件	5,379千円								

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	新規就農者	150%	250%		100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	前年度から継続している新規就農者に対しては目標どおり支援できたが、令和2年度は就農開始に至った新規就農者がいなかった。

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>新規就農者への支援は新たな担い手の確保に有効な手段であり、今後も継続して行っていく。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	014700	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	農地集積等対策事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	農地集積等対策事業費		予算事業コード	01-05-01-06-01-06	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域の担い手、農業者等
意図 (どのような状態 にするために)	持続可能な力強い農業を実現するため、地域・集落が抱える人と農地の問題解決を図る。
手段 (どうするか)	地域において話し合いを進め、地域農業の中心となる担い手や担い手に集積すべき農地などを定めた、人・農地プランを作成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	人・農地プランの中心 経営体への農地集積・ 集約化を図る  農地集積 人・農地プランの更 新に係る地元検討会の 実施(14地域) 地域への担い手の掘 り起し	人・農地プランの中心 経営体への農地集積・ 集約化を図る  農地集積 人・農地プランの更 新に係る地元検討会の 実施(14地域) 地域への担い手の掘 り起し	人・農地プランの中心 経営体への農地集積・ 集約化を図る  農地集積 人・農地プランの更 新に係る地元検討会の 実施(14地域) 地域への担い手の掘 り起し	人・農地プランの中心 経営体への農地集積・ 集約化を図る  農地集積 人・農地プランの更 新に係る地元検討会の 実施(14地域) 地域への担い手の掘 り起し	人・農地プランの中心 経営体への農地集積・ 集約化を図る  農地集積 人・農地プランの更 新に係る地元検討会の 実施(14地域) 地域への担い手の掘 り起し
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	49,957	41,702	38,633	11,771	17,585	
	直接経費 A	43,791	35,542	36,460	9,614	10,394	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	31,791	27,590	27,680	3,087	2,522
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,945	2,461	2,455	2,447	2,829
一般財源	9,055	5,491	6,325	4,080	5,043		
人件費 B	6,166	6,160	2,173	2,157	7,191		
職員数の 内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	2.00	2.00	0.00	1.00	2.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	人・農地プラン作成集落	集落	目標	14
	(指標の説明) 集落において話し合いを進め、人・農地プランに計画を挙げた集落数		実績	11	13	14	4	6
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P128（農018）</p> <p>【事業の概要】          農業者の高齢化や後継者不足により、耕作放棄地が増加する中、担い手の規模拡大や農地の集約化及び耕作放棄地解消を目的に農地の貸付を促進している。担い手への農地集積・集約化を図り、規模拡大を行った認定農業者に対する助成、地域の中心となる経営体の育成・確保に取り組んでいる。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(1) 人・農地問題解決加速化支援事業          地域連携推進員活動費 2,639千円(会計年度任用職員1名分報酬)          市町村活動費 53千円(報償費)</p> <p>(2) 農地集積・集約化対策事業費          経営転換協力金 927千円(集積に協力する面積6.18ha)</p> <p>(3) 農地中間管理事業推進費          推進員活動費、消耗品費、役務費 2,829千円(会計年度任用職員1名分報酬、事務費)</p> <p>(4) 農地流動化推進事業費補助金          補助金 3,946千円(一定期間の利用権設定を行った認定農業者へ補助)</p> <p>&lt;実績&gt;          平成30年度 36,460千円          令和元年度 9,614千円          令和2年度 10,394千円</p> <p>【今後の課題・方向性】          地域農業の中心となる経営体(個人、法人、集落営農組織)の確保や地域の中心となる経営体への農地集積を支援することにより、持続可能な農業を実現する必要がある。</p> <p>※その他財源の諸収入は、農地中間管理事業等受託収入</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	人・農地プラン作成集落	79%	81%	100%	29%	43%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	人・農地プラン策定のため集落での話し合いを実施しているが、プランが策定できた集落が少なかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>実質化された人・農地プランの作成と担い手への農地集積により持続可能な農業を実現するため、引き続き事業を推進する必要がある。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	014800	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	機構集積支援事業		所属名	農業委員会事務局 農業委員会事務局

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	農地法第30条及び32条
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	機構集積支援事業費		予算事業コード	01-05-01-01-04-06	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	利用状況調査で再生可能と判断された遊休農地。
意図 (どのような状態 にするために)	利用状況調査で再生可能と判断された遊休農地の所有者等に対し、今後の利用意向を確認するとともに遊休農地を解消するため担い手への農地集積・集約化を促進する。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月から11月にかけて市内全域の農地の一斉現地調査を行う。</li> <li>現地調査の結果、再生可能とされた遊休農地の所有者等に利用意向調査を実施。</li> </ul>

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		市内全ての農地の利用状況調査を実施 調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施	市内全ての農地の利用状況調査を実施 調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施	市内全ての農地の利用状況調査を実施 調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施	市内全ての農地の利用状況調査を実施 調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施	市内全ての農地の利用状況調査を実施 調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施	市内全ての農地の利用状況調査を実施 調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施
年度別実績	実施委員数45人、管内農地7,127ha 305件(うち所有者数451人)面積32.4ha	調査員88人、管内農地7,125ha 238件(うち所有者数244人)面積26.9ha	調査員88人、管内農地7,116ha 468件(うち所有者数281人)面積45.9ha	調査員88人、管内農地7,087ha 323件(うち所有者数213人)面積25.3ha	調査員88人、管内農地6,870ha 107件(うち所有者数95人)面積10.6ha		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	55,190	49,663	49,098	48,593	52,223	
	直接経費 A	407	1,495	1,269	1,158	1,244	
	直接経費の財源内訳	国・県	407	1,122	1,206	1,094	1,182
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	373	63	64	62		
人件費 B	54,783	48,168	47,829	47,435	50,979		
職員数の内訳	正規職員	7.00	6.00	6.00	6.00	6.00	
	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	臨時職員	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	利用意向調査の回答のうち、耕作・貸出希望など農地利用を行うと回答した面積割合	%	目標	100
			実績	86.19	63.85	32.84	63.38	58.94
	(指標の説明) 毎年7月以降に農地の状況を調査する。指標はその調査が完了した農地所有者全員への利用意向確認の達成率。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農地係 0857-30-8481</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の概要】 農地の生産性を高め、競争力を強化していくためには担い手への農地集積・集約化を加速し、生産コストを削減していくことが重要であることから、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構が平成26年度に設立され、農地の集積・集約化に取り組むこととされた。 農地中間管理機構が担い手への農地集積・集約化を促進するに当たって、農業委員会が管内の農地の状況を的確に把握することを目的とする。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内すべての農地の一斉現地調査(利用状況調査)を実施。</li> <li>・現地調査の結果、遊休農地と判定された農地の所有者等に利用意向調査を実施。</li> <li>・農業委員等の資質向上を図るため各種研修への参加</li> <li>・利用意向調査の実績</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>281件</td> <td>面積45.9ha</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>213件</td> <td>面積25.3ha</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>95件</td> <td>面積10.6ha</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不在住者所有及び所有者不明の遊休農地等の対策が課題となる。</li> <li>・遊休農地の解消のため農地中間管理機構の活用を促進する。</li> </ul>	平成30年度	281件	面積45.9ha	令和元年度	213件	面積25.3ha	令和2年度	95件	面積10.6ha
平成30年度	281件	面積45.9ha								
令和元年度	213件	面積25.3ha								
令和2年度	95件	面積10.6ha								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	利用意向調査の回答のうち、耕作・貸出希望など農地利用を行うと回答した面積割合	86%	64%	33%	63%	59%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	年度内に対象者からの回答を得ることができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	農地所有者の高齢化、後継者の減少、相続人の分散化などにより農地の管理意識が希薄となり回答率の低下につながったと考えられる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>農業従事者の高齢化や担い手不足により遊休農地が増大する中、この事業は農地を保全し、遊休農地の解消を図るものであり、引き続き事業を継続していく。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	014901	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	林業担い手育成事業(福祉向上)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の まちづくりの 政策 施策	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	2104	農林水産業の振興		根拠法令、 根拠計画等		
目標の種類	平成28年度	令和2年度				
施策の 目標の	新規就農者数	3人	15人	事業分類区分	ソフト(任意)	
	木材搬出量	45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	運営方法	その他	
	新規林業従事者数	6人	6人	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名	林業労働者福祉向上推進事業負担金			予算事業コード	01-05-02-01-10-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	林業労働者、林業事業者
意図 (どのような状態 にするために)	林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、森林整備の担い手である林業労働者を育成、確保する。
手段 (どうするのか)	(財) 鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業(林業労働者の共済年金掛金の一部助成)に要する経費を助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	
年度別実績		平成28年度実績 1,253千円	平成29年度実績 1,532千円	平成30年度実績 1,466千円	令和元年度実績 1,525千円	令和2年度実績 1,545千円	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,975	2,264	2,190	2,243	2,252	
	直接経費 A	1,253	1,532	1,466	1,524	1,545	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,253	1,532	1,466	1,524	1,545		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	加入者数	人	目標	218	220	220	220	220
				実績	218	244	237	237
2	(指標の説明) 林業労働者の共済加入者総数		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算（事業別概要に掲載無し）</p> <p>【事業の概要】 森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため（財）鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業（林業労働者の共済年金掛金の一部助成）に要する経費を助成する。 事業主体 （財）鳥取県林業担い手育成財団 負担区分 市町村 4 / 10 （県 4 / 10、林業団体等 2 / 10）</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 1,466千円 令和元年度 1,525千円 令和2年度 1,545千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	加入者数	100%	111%	108%	108%	110%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り林業の発展に資するため、引き続き県と同調して助成を行っていく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	014902	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	林業担い手育成事業(雇用条件改善)		所属名	農林水産部 林務水産課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名		林業労働者雇用条件改善事業費	予算事業コード	01-05-02-01-16-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	林業労働者、林業事業者
意図 (どのような状態にするために)	林業事業者が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、林業の担い手育成を促進する。
手段 (どうするのか)	市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対し経費の一部を助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	
年度別実績	健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成 平成28年度実績 5,333千円	健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成 平成29年度実績 5,743千円	健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成 平成30年度実績 6,514千円	健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成 令和元年度実績 6,379千円	健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成 令和2年度実績 5,053千円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,055	6,475	7,238	7,098	5,760	
	直接経費 A	5,333	5,743	6,514	6,379	5,053	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,666	2,872	3,257	3,189	2,526
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,667	2,871	3,257	3,190	2,527		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	助成者人数	人	目標	30	30	30	30	30
				実績	29	29	31	31
(指標の説明) 林業担い手新規雇用者(雇用開始から5年目まで)人数								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算（事業別概要は掲載無し）</p> <p>【事業の概要】 林業事業体が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金（農林年金）の事業主負担に対し経費の一部を助成する。 補助率 県：1/4、市：1/4（事業主体：1/2）</p> <p>【事業の成果】 健康保険、厚生年金の事業主負担に係る補助を行い、担い手育成の促進に寄与した。 平成30年度 6,514千円 31人 令和元年度 6,379千円 31人 令和2年度 5,053千円 24人</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	助成者人数	97%	97%	103%	103%	80%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>林業労働者の労働環境改善のため、今後も県と同調しながら担い手育成に対する支援を行っていく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	015000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	栽培漁業推進支援事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	栽培漁業推進支援事業費		予算事業コード	01-05-03-02-22-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	稚貝等放流を実施する鳥取県漁業協同組合
意図 (どのような状態 にするために)	稚貝等を放流することにより水産資源の維持増殖を図り水産業の発展に寄与する。
手段 (どうするのか)	稚貝等放流を実施する鳥取県漁業協同組合に対して稚貝等購入経費を支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		稚貝等放流	稚貝等放流	稚貝等放流	稚貝等放流	稚貝等放流	
年度別実績		稚貝等放流 アワビ 25,001個 サザエ 19,500個 イワガキ 350個 キジハタ 21,965尾	稚貝等放流 アワビ 23,200個 サザエ 49,000個 イワガキ 1,000個 キジハタ 23,250尾 ワカメ 210m	稚貝等放流 アワビ 23,700個 サザエ 51,000個 イワガキ 1,000個 キジハタ 26,841尾 ワカメ 270m	稚貝等放流 アワビ 23,700個 サザエ 53,000個 イワガキ 1,000個 キジハタ 27,420尾 ワカメ 300m	稚貝等放流 アワビ 23,200個 サザエ 51,000個 キジハタ 26,610尾	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,700	1,807	1,842	1,866	2,000	
	直接経費 A	978	1,075	1,118	1,147	1,293	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	604
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	978	1,075	1,118	1,147	689		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	稚貝放流量	千個	目標	50	50	50	50	50
				実績	44.9	73.2	75.7	77.7
2	稚魚放流量	千尾	目標	20	20	20	20	20
				実績	22	23	27	27
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P140（農042）</p> <p>【事業の概要】 水産資源の維持増殖のため鳥取県漁協が行う稚貝等放流事業へ県と連携して支援する。</p> <p>【事業の成果】 水産資源の維持増殖を図った。 アワビ：23,200個、サザエ：51,000個、キジハタ：26,610尾</p> <p style="text-align: center;">事業費</p> <p>平成30年度 1,118千円 令和元年度 1,147千円 令和2年度 1,293千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 水産資源維持増殖のために寄与していると思われるが、その効果を把握できる指標等の設定が必要と考えられる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	稚貝放流量	90%	146%	151%	155%	148%
	2	稚魚放流量	110%	115%	135%	135%	133%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>水産資源の維持増殖を図り水産業を発展させるためにも引き続き支援していく必要がある。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	015101	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	もうかる6次化・農商工連携支援事業(農政企画課)		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	もうかる6次化・農商工連携支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-45-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農林漁業者、法人、任意組織、農漁協、食品加工業者等
意図 (どのような状態にするために)	元気な農業者を育成し、農林水産業の振興、経済活性化を図る
手段 (どうするのか)	6次産業化や農商工連携による取り組みに対し助成する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援	6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 6次産業化ネットワークシステムの構築	6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(2件) もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(2件) もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(2件) もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(2件) もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進
年度別実績	6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(4件) もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援(1件)	6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(3件) もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援(1件)	6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(2件) もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援(1件) 6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(1件) もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援(1件) 6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(2件) もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援(1件) 6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	14,722	13,810	724	719	3,290	
	直接経費 A	14,000	13,078	0	0	2,583	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,500	9,809	0	0	2,153
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,500	3,269	0	0	430		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	6次産業化取り組み農家件数	件	目標	2
			実績	1	1	0	0	1
	(指標の説明) 本事業を活用して、農業振興に資した農家(団体)の件数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P125（農011）</p> <p>【事業の概要】 農林漁業者自らが加工・製造・流通・販売までを行う6次産業化や、農林水産業と商業・工業などが連携して商品製造等に取り組む農商工連携の推進は、今後の農業振興にとって重要であり、6次産業化等を目指して事業実施主体が作成した「プラン」を実現するために必要な経費について助成する。 補助率 1/2（内訳：県1/3 市1/6）</p> <p>【事業の成果】 福部（1件）加工施設、球根皮むき機 &lt;実績&gt; 平成30年度 実績なし 令和元年度 実績なし 令和2年度 2,583千円（1件）</p> <p>【今後の課題・方向性】 農家等の所得向上に有効な6次産業化を進めるため、県・金融機関・商工団体等と連携し支援を行っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	6次産業化取り組み農家件数	50%	50%			50%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	計画を作成した取組農家は2件であったが、そのうち1件は事業開始が令和3年度となったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>県・金融機関・商工団体等と連携し、所得向上に有効な6次産業化を推進していく。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	015102	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	もうかる6次化・農商工連携支援事業(林水産課)		所属名	農林水産部 林水産課

## 1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名		もうかる6次化・農商工連携支援事業		予算事業コード	01-05-03-02-32-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	6次産業化や農商工連携による取り組みについて意欲のある漁業者や連携する食品加工業者
意図 (どのような状態にするために)	6次産業化や農商工連携を発展させることにより、新しい事業展開や流通改革を実現し、本市水産業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	6次産業化や農商工連携に係る推進活動及び生産体制を含めた施設・機械の整備に対して支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	6次化事業の支援	新規事業者の創出	新規事業者の創出	新規事業者の創出	新規事業者の創出
年度別実績	販売促進活動、機器整備に係る支援	新規事業者なし	新規事業者なし	新規事業者なし	新規事業者なし		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	788	0	0	0	0	
	直接経費 A	66	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	44	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	22	0	0	0	0	
人件費 B	722	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	6次化事業件数	件	目標	1
			実績	1	1	1	1	1
	(指標の説明) 水産業に伴う6次化事業件数(累計)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1. 新規事業者なし</p> <p>2. 過去の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業費</th> <th>実施件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>漁獲物の付加価値を高め所得向上につながる可能性のある取り組みではあるが、商品開発や販路確保などに要する手間を考慮すると取り組みに前向きな漁業者等が少ないため、この機運の醸成が必要。</p>		事業費	実施件数	平成30年度	—	—	令和元年度	—	—	令和2年度	—	—
	事業費	実施件数											
平成30年度	—	—											
令和元年度	—	—											
令和2年度	—	—											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	6次化事業件数	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>事業実施の申請により補助事業を行うこととしているため、本年度は事業実施がないが問題はないと考える。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント          (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>漁業者の所得向上や雇用確保など水産振興に資する取組であり、前向きに実施する事業者があれば継続して支援を行う。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	015200	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業研修事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目録	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	漁業研修事業費			予算事業コード	01-05-03-02-33-05

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	新規就業に要する漁労技術や経営方法等の習得のため漁業研修事業を実施する漁業協同組合等
意図 (どのような状態 を図るために)	漁業就業者の減少と高齢化の進行による漁業の衰退を防ぐため、若年層の漁業への新規参入を促進し、漁業振興を図る。
手段 (どうするのか)	漁業研修に要する経費を支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		研修事業実施	研修事業実施	研修事業実施	研修事業実施	研修事業実施	
年度別実績		研修事業 雇用型 6名 独立型 1名	研修事業 雇用型 4名	研修事業 雇用型 2名 独立型 1名	研修事業 雇用型 3名 独立型 2名	研修事業 雇用型 1名 独立型 2名	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	8,836	2,860	4,776	7,985	8,559	
	直接経費 A	8,114	2,128	4,052	7,266	7,852	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,154	1,932	3,615	6,440	6,936
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
人件費 B	960	196	437	826	916		
職員数の内訳	人件費 B	722	732	724	719	707	
	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	研修人数 (指標の説明) 漁業研修人数	人	目標	3	3	3	3	3
				実績	7	4	3	5
2	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 水産漁港係 0857-30-8312</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P141（農044）</p> <p>【事業の概要】 新規漁業就業に際し必要となる漁労技術や経営方法等の習得を目的として、漁業組合等が行う研修事業に要する経費を県と連携して支援する。</p> <p>【事業の成果】 新規就業希望者に対する漁労技術等の習得に寄与した。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">研修人数</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">4,052千円</td> <td style="text-align: center;">3人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">7,266千円</td> <td style="text-align: center;">5人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: center;">7,852千円</td> <td style="text-align: center;">3人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 新規就業者の円滑な確保のため、漁業所得や労働環境の更なる向上等を図るとともに、効果的な広報活動を要する。</p>		事業費	研修人数	平成30年度	4,052千円	3人	令和元年度	7,266千円	5人	令和2年度	7,852千円	3人
		事業費	研修人数										
平成30年度	4,052千円	3人											
令和元年度	7,266千円	5人											
令和2年度	7,852千円	3人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	研修人数	233%	133%	100%	167%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新規就業漁業者の漁労技術や経営方法を習得するためにも必要な事業であり、かつ漁業者の高齢化が進むなか、漁業の衰退を防止するためにも引き続き支援する必要がある。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	015300	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	水産資源維持増殖事業		所属名	農林水産部 林務水産課	

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 目標の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	水産資源維持増殖事業費		予算事業コード	01-05-03-02-01-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖山池漁業協同組合
意図 (どのような状態 にするために)	内水面漁業における魚種苗放流事業等水産資源の維持増殖により本市水産業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	内水面漁業協同組合が実施する魚種苗放流事業や漁獲量向上・安定化に資する取組へ支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	稚魚放流等 アマサギ卵 500万粒 ウナギ稚魚 30kg	稚魚放流等への漁協 からの申請なし。	稚魚放流等への漁協 からの申請なし。 漁場整備に資する取 組への支援。	稚魚放流等への漁協 からの申請なし。 漁場整備に資する取 組への支援。	稚魚放流等への漁協 からの申請なし。 漁場整備に資する取 組への支援。
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	954	732	1,124	1,119	1,107	
	直接経費 A	232	0	400	400	400	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	232	0	400	400	400		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	放流量	kg	目標	50
			実績	30	0	0	0	0
	(指標の説明) 魚類放流量							
2	漁獲量	t	目標	0	0	60	60	60
			実績	0	0	68.8	103.7	218.1
	(指標の説明) シジミの年間漁獲量							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P138(農037)</p> <p>【事業の概要】 水産資源の維持増殖を図るため、湖山池漁協が行うウナギ等稚魚放流やシジミ漁場整備に要する経費への支援。</p> <p>【事業の成果】 1. 放流については、他の有利な補助金を活用して実施。(H29~R2；ウナギ放流30kg) 良好なシジミ漁場の整備のために支障となる、池口の魚止め等の撤去費用を支援。 2. 過去の推移</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>事業費</td> <td>ウナギ放流</td> <td>漁場整備</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>—</td> <td>魚止撤去一式</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>—</td> <td>魚止撤去一式</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 現在の主要な漁獲物である「シジミ」の更なる漁獲量の増大や安定化に資する取組に対する支援へ転換を図る。</p>	事業費	ウナギ放流	漁場整備	平成30年度	—	—	令和元年度	—	魚止撤去一式	令和2年度	—	魚止撤去一式
事業費	ウナギ放流	漁場整備											
平成30年度	—	—											
令和元年度	—	魚止撤去一式											
令和2年度	—	魚止撤去一式											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	放流量	60%				
	2	漁獲量			115%	173%	364%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	放流については、他の有利な補助金を活用して実施しており問題ない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	千代川及び湖山池水産振興に資することを主眼とした維持増殖策へ柔軟な支援を行う。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	015500	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	中山間地域等直接支払事業		所属名	農林水産部 農村整備課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	令和2年度 ~ 令和6年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	中山間地域等直接支払交付金 実施要領等
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	中山間地域等直接支払交付金			予算事業コード	01-05-01-06-04-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中山間地域等において集落等を単位に、5年以上継続して農業生産活動を行う農業者等に交付する交付金
意図 (どのような状態にするために)	条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払いを実施することにより、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。
手段 (どうするのか)	協定の締結、履行確認、交付金の交付などを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		協定に対する指導・助言 協定内容の確認及び交付金の交付	協定に対する指導・助言 協定内容の確認及び交付金の交付	協定に対する指導・助言 協定内容の確認及び交付金の交付	協定に対する指導・助言 協定内容の確認及び交付金の交付	協定に対する指導・助言 協定内容の確認及び交付金の交付	
年度別実績		協定に対する指導・助言 協定内容の確認及び交付金の交付	協定に対する指導・助言 協定内容の確認及び交付金の交付	協定に対する指導・助言 協定内容の確認及び交付金の交付	協定に対する指導・助言 協定内容の確認及び交付金の交付	協定に対する指導・助言 協定内容の確認及び交付金の交付	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	132,530	134,292	132,944	132,732	95,924	
	直接経費 A	109,595	110,795	111,428	111,881	92,388	
	直接経費の財源内訳	国・県	80,372	82,172	82,667	82,759	68,146
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	184	4	153	0
一般財源	29,223	28,439	28,757	28,969	24,242		
人件費 B	22,935	23,497	21,516	20,851	3,536		
職員数の内訳	正規職員	2.90	2.90	2.90	2.90	0.50	
	嘱託職員	1.00	0.00	0.25	0.40	0.40	
	臨時職員	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	協定数	協定	目標	133	132	136	136	108
				133	132	136	136	108
(指標の説明) 取り組み団体の協定数								
2	対象農用地面積	ha	目標	789	794	825	834	689
				789	794	825	834	689
(指標の説明) 対象農用地の保全面積								
3			目標	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務係 0857-30-8316</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P150(農061)</p> <p>【事業の概要】 条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払を実施することで、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。 ・対象地域 特定農山村法、山村振興法、過疎法に指定された地域及び県知事が特に必要と認める地域のうち、急傾斜地(田1/20以上、畑15度以上)及び緩傾斜地(田1/20未満1/100以上、畑15度未満8度以上)で面的まとまりのある農用地等 ・対象者 協定に基づき5年以上継続して農業生産活動を行う農業者等 ・事業期間 令和2年度より5年間(第5期対策) ・事業費 91,601千円 (負担割合：三法地域 : 国50%、県25%、市25% 知事特認地域：国33%、県33%、市34%) ・事務費 787千円(負担割合：国100%)</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 111,428千円 令和元年度 111,881千円 令和2年度 92,388千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 中山間地域で農業生産活動を行う農業者等を支援することで、生産条件の不利性を補正し、農業生産の維持と多面的機能の確保を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	協定数	100%	100%	100%	100%	100%
	2	対象農用地面積	100%	100%	100%	100%	100%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を実施し、完了した。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	計画どおり事業を実施し、目標を達成した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>中山間地域では、農業従事者の高齢化や後継者の流出により農地の荒廃が進んでいる。本事業は中山間地域の農地の荒廃に歯止めをかける目的を有する事業であり、引き続き事業を維持継続する必要がある。</small>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	015600	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	農業基盤整備促進事業		所属名	農林水産部 農村整備課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度 ~ 令和4年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	農業基盤整備促進事業実施要綱
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名		農業基盤整備促進事業費	予算事業コード	01-05-01-05-56-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用施設（農道、かんがい施設、ほ場など）
意図 (どのような状態にするために)	老朽化した農業用施設のきめ細かな整備、大型機械等への対応等をとおして農業の省力化、効率化、合理化を図る。またこれらにより生産性の向上、高収益作物の作付けを促し、もって農地集積率の向上、農業競争力を強化する。
手段 (どうするのか)	必要に応じて施設整備工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	用排水改修 2箇所 頭首工改修 1箇所 農道改修 1箇所	ほ場整備 1箇所	ほ場整備 1箇所 用水路改修 1箇所	ほ場整備 1箇所	湿田対策実施設計 1式	
	年度別実績	用排水改修 2箇所 頭首工改修 1箇所 農道改修 1箇所	ほ場整備 1箇所	ほ場整備 1箇所 用水路改修 1箇所	ほ場整備 1箇所	湿田対策実施設計 1式	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	26,596	33,915	19,729	30,965	12,605	
	直接経費 A	15,767	22,936	8,864	20,180	1,998	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,493	15,710	2,434	13,045	1,398
		地方債	0	0	0	2,400	200
		その他	2,808	3,885	1,536	4,230	300
一般財源	2,466	3,341	4,894	505	100		
人件費 B	10,829	10,979	10,865	10,785	10,607		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	整備済農業用施設	箇所	目標	3	1	2	1	1	
				実績	2	1	2	1	1	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P147（農056）</p> <p>【事業の概要】 農業生産基盤の整備をきめ細かく実施し、意欲ある農業者が安心して新しい営農に取り組めるよう区画拡大、暗渠排水の新設変更等の農業基盤整備を行う。 ・実施地区 河原町谷一木 ・事業内容 ほ場整備、暗渠排水の修繕 ・負担区分 国55% 県15% 市15% 地元15%</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 6,614千円 令和元年度 18,189千円 令和2年度 1,998千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 農家の高齢化等により耕作放棄地が増える中、農地の区画拡大や湿田対策等を行うことで、農作業の効率化を図り、併せて担い手への集積を促進して営農の安定化を図る。</p> <p>※その他財源の負担金は、地元負担金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	整備済農業用施設	67%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業実施し完了した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	計画どおり事業実施し目標を達成した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>農業従事者の高齢化及び後継者不足に伴い農業生産効率の向上が重要となっている。本事業は、農地の区画拡大による大型機械の導入や農業用排水路の改修による水管理の効率化等を促進する事業であり、農家のニーズも引き続きあることから維持継続が必要である。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	015702	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	特定農業用管路等特別対策事業(湖山砂丘)		所属名	農林水産部 農村整備課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度 ~ 令和4年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	湖山砂丘特定農業用管路等特別対策事業費		予算事業コード	01-05-01-05-04-45	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖山地区に存在する畑地灌漑施設の石綿管水路
意図 (どのような状態 にするために)	石綿に起因する健康被害への影響を未然に防止する
手段 (どうするのか)	県営事業で石綿管の更新を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		管路工 1式	管路工 1式	管路工 1式	管路工 1式	管路工 1式	
年度別計画							
年度別実績							
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,520	8,286	7,813	6,715	7,291	
	直接経費 A	4,376	8,140	7,668	6,571	7,150	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	3,900	7,326	6,901	5,914	6,400
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	476	814	767	657	750		
人件費 B	144	146	145	144	141		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	施設改修箇所数	式	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
2	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317          【10次総の施策体系】 2104          【予算計上の経過】 予算別事業概要目次：当初予算P145</p> <p>【事業の経過及び背景】          湖山砂丘地区のかんがい用水管は、昭和28～34年度の県営及び団体営かんがい排水事業により造成され、当時安価で施工性に優れていた石綿管が主に使用されている。供用開始から50年以上経過していることから、近年は老朽化による管の破裂や漏水事故が頻発しており、用水の安定供給のみならず、修繕時における石綿粉塵飛散による健康被害が危惧されている。</p> <p>【事業の目的及び効果】          石綿管使用の管水路を全体的に変更・更新することで、石綿に起因する健康被害等への影響を未然に防止し、かつ用水確保の効率化に伴う農業経営安定及び維持を図るもの。</p> <p>【事業の内容・実績】          ・事業主体 鳥取県 ・事業年度 平成27～令和4年度          ・事業費 1,631,000千円          ・負担区分 国55% 県34% 市9%(起債充当率90%) 地元2%          ・事業内容 石綿管更新 L=28,595m          ・受益 戸数：479戸 面積：97.3ha</p> <p>【事業の成果】          平成30年度 7,668千円          令和元年度 6,571千円          令和2年度 7,150千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 現場条件等により、進捗に影響があるものの、健康被害等への影響の防止および用水の安定供給を図るため、着実に事業を進める必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	施設改修箇所数	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	ほぼ計画どおり事業実施し完了した。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	ほぼ計画どおり事業実施し目標を達成した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>本事業は、県営事業で実施されている湖山砂丘地区の用水管改修事業の市負担金である。湖山砂丘地区は畑作中心の地区であり健康被害等への影響の防止および用水の安定供給を図るため本市も相応の負担をして着実に事業を進める必要がある。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	015900	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業		所属名	農林水産部 農村整備課	

## 1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分		
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期		
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市とっとり共生の里保全活動推進事業補助金交付要綱等		
施策	2104	農林水産業の振興						
目標の	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)		
	新規就農者数		3人	15人				
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>			運営方法	補助金交付
	新規林業従事者数		6人	6人			会計区分	一般会計
予算	予算事業名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費		予算事業コード	01-05-01-05-61-01			

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	交流活動を通じて農業・農村の保全意識を高め、新たな活動により生産基盤の保全や自立的な農業を行おうと意欲的に取り組む集落地域
意図 (どのような状態にするために)	地域貢献に前向きな企業や自治会・企業等の外部サポーターとの協働により、低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、意欲的に生産基盤の保全・自律的な農業を行う集落・地域に対して支援することで、交流活動を通じた農業・農村の保全意識を高める。
手段 (どうするか)	・企業との連携協定により農地・用水路・農道などの地域資源保全活動、営農支援を行うとともに、6次産業化や特産品開発に必要な経費について、締結協定に対し補助を行う。 ・都市部の町内会等の組織との協定を締結し、資源維持保全作業や農業体験等を実施する協定に対し補助を行う

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		共生の里推進加速化事業事業費 600千円(1協定) むら・まち支え合い共生促進事業事業費 1,170千円(3協定)	共生の里推進加速化事業事業費 1,800千円(3協定) むら・まち支え合い共生促進事業事業費 780千円(3協定)	共生の里推進加速化事業事業費 1,500千円(3協定) むら・まち支え合い共生促進事業事業費 195千円(1協定)	共生の里推進加速化事業事業費 1,500千円(3協定) むら・まち支え合い共生促進事業事業費 1,950千円(1協定)	共生の里推進加速化事業事業費 1,500千円(3協定)	共生の里推進加速化事業事業費 609千円(2協定)
年度別実績	共生の里推進加速化事業事業費 600千円(1協定) むら・まち支え合い共生促進事業事業費 1,170千円(3協定)	共生の里推進加速化事業事業費 1,800千円(3協定) むら・まち支え合い共生促進事業事業費 780千円(3協定)	共生の里推進加速化事業事業費 1,500千円(3協定) むら・まち支え合い共生促進事業事業費 1,950千円(1協定)	共生の里推進加速化事業事業費 1,500千円(3協定)	共生の里推進加速化事業事業費 409千円(2協定)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,101	8,435	3,868	3,657	2,530	
	直接経費 A	1,770	2,580	1,695	1,500	409	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,180	1,720	1,130	1,000	273
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	590	860	565	500	136		
人件費 B	4,331	5,855	2,173	2,157	2,121		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.80	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	共生の里推進加速化事業	協定	目標	1
	(指標の説明)		実績	1	3	3	3	2
2	むら・まち支え合い共生促進事業	協定	目標	3	3	1	0	0
	(指標の説明)		実績	3	3	1	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務係 0857-30-8316</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】 地域貢献に前向きな都市部の自治会・企業等の外部サポーターとの協働により、低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、意欲的に生産基盤の保全・自立的な農業を行う集落・地域に対して支援することで、交流活動を通じた農業・農村の保全意識を高める。 ○共生の里推進加速化事業 企業との連携により農地・用水路・農道などの地域資源保全活動や営農支援等に必要経費に対して助成する。 ・事業費 600千円 2協定（負担割合：県2/3、市1/3）</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 1,695千円 令和元年度 1,500千円 令和2年度 409千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業は、企業や自治会等、外部サポーターとの協働による低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、地域振興を図る事業である。 現在、2地区において5年間の協定を締結し事業を実施しており、令和3年度が最終年度となる。 令和4年度以降の新たな取り組みについて、鳥取県と連携を図りながら検討する必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	共生の里推進加速化事業	100%	100%	100%	100%	100%
	2	むら・まち支え合い共生促進事業	100%	100%	100%		
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を実施し、完了した。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	計画どおり事業を実施し、目標を達成した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<b>担当課長の評価コメント</b> <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>本事業は企業や自治会等、外部サポーターとの協働による低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し地域振興を図る事業である。現在、2地区において事業を実施中であるがいずれも令和3年度が事業最終年度となるため、今後、新たな協定が締結されなければ令和4年度以降は事業廃止となる可能性がある。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	016100	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	造林事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人	予算事業コード	01-05-02-02-05-01
予算	予算事業名 造林事業費					

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林施策がおくられて林地の荒廃が進んでいる森林
意図 (どのような状態 にするために)	適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、本市林業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	間伐、竹林整備、クヌギ造林などを支援し、森林整備を進める。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	間伐 271.02ha 広葉樹植林 54.7ha	間伐 284.71ha 広葉樹植林 33.3ha	間伐 336.60ha 広葉樹植林 35.74ha	間伐 303.08ha 広葉樹等植林 24.36ha	間伐 303.99ha 広葉樹等植林 50.95ha
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	22,823	22,277	24,365	20,213	24,554	
	直接経費 A	22,101	21,545	23,641	19,494	23,847	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	18,000	15,800	17,400	15,700	18,500
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,101	5,745	6,241	3,794	5,347		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
				1	間伐面積	ha	目標	454	450
	(指標の説明)			実績	271.02	284.71	336.6	303.08	303.99
2	広葉樹等植林面積	ha	目標	86	80	80	80	80	
	(指標の説明)			実績	54.7	33.3	35.74	24.36	50.95
3			目標	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311
	【10次総の施策体系】 2104
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P133(農027)
	【事業の概要】 適正な森林造成計画を効果的に推進するために必要な補助金を交付し、本市林業の振興を図る。
	【事業の成果】

	事業費	間伐・広葉樹植林
平成30年度	23,641千円	372.34ha
令和元年度	19,494千円	327.44ha
令和2年度	23,847千円	354.94ha

【今後の課題・方向性】
今後も間伐、広葉樹等植林などを支援し、森林整備を進める。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	間伐面積	60%	63%	75%	67%	68%
	2	広葉樹等植林面積	64%	42%	45%	30%	64%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度前半に木材需要が大幅に減少した影響によるもの。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>経済的な森林の有効活用の観点から、また森林吸収源対策の促進の観点から、継続して支援する。</small>	



# 事務事業評価シート

事務事業コード	016200	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	間伐搬出支援事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	間伐搬出支援事業費			予算事業コード	01-05-02-02-05-03

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林所有者・森林組合等
意図 (どのような状態 にするために)	間伐した木材の搬出を支援し間伐施業の促進とその利用拡大を図る。
手段 (どうするのか)	搬出した間伐材の材積に応じ助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		間伐材搬出に係る経費を助成	間伐材搬出に係る経費を助成	間伐材搬出に係る経費を助成	間伐材搬出に係る経費を助成	間伐材搬出に係る経費を助成	
年度別実績	間伐材搬出支援を実施 実績 搬出量 43,929立米 補助金 21,954,414円	間伐材搬出支援を実施 実績 搬出量 46,470立米 補助金 23,235,065円	間伐材搬出支援を実施 実績 搬出量 43,765立米 補助金 21,882,441円	間伐材搬出支援を実施 実績 搬出量 38,956立米 補助金 19,477,862円	間伐材搬出支援を実施 実績 搬出量 39,381立米 補助金 19,690,543円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	25,896	23,967	22,607	20,197	20,398	
	直接経費 A	25,174	23,235	21,883	19,478	19,691	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	25,174	23,235	21,883	19,478	19,691		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	[KPI] 木材搬出量	m <sup>3</sup>	目標	45000	48000	52000	55000	58000
				実績	43929	46470	43765	38956
2	(指標の説明) 間伐した木材の搬出量。基準値は平成26年度実績。		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P133（農028）</p> <p>【事業の概要】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、間伐材搬出支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 間伐材搬出支援 39,381.086m<sup>3</sup>×500円=19,691千円</p> <p style="text-align: center;">事業費</p> <table border="0"> <tr><td>平成30年度</td><td>21,883千円</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>19,478千円</td></tr> <tr><td>令和2年度</td><td>19,691千円</td></tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、搬出を支援する。</p>	平成30年度	21,883千円	令和元年度	19,478千円	令和2年度	19,691千円
平成30年度	21,883千円						
令和元年度	19,478千円						
令和2年度	19,691千円						

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 木材搬出量	98%	97%	84%	71%	68%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度前半に木材需要が大幅に減少した影響によるもの。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>適正な森林整備には間伐施業は不可欠であり、支援の継続は必要である。 また、再生エネルギー活用が広がる中、間伐材は木質バイオマス燃料として需要が高まっており、継続して支援する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	016300	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	竹林整備事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	竹林整備事業費			予算事業コード	01-05-02-02-05-08

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	手つかずの荒廃竹林
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取県森林環境保全税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林を適正に管理する。
手段 (どうするのか)	アクセス道整備、抜き伐りなどの取り組みを支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		放置竹林整備への助成 ・抜き取り	放置竹林整備への助成 ・抜き取り	放置竹林整備への助成 ・抜き取り	放置竹林整備への助成 ・抜き取り	放置竹林整備への助成 ・抜き取り	放置竹林整備への助成 ・抜き取り
年度別実績	放置竹林整備への助成を実施 実績 抜き取り面積 4.71ha 補助金額 17,980千円	放置竹林整備への助成を実施 実績 抜き取り面積 5.98ha 補助金額 19,184千円	放置竹林整備への助成を実施 実績 抜き取り面積 7.17ha 補助金額 23,924千円	放置竹林整備への助成を実施 実績 抜き取り面積 4.52ha 補助金額 18,183千円	放置竹林整備への助成を実施 実績 抜き取り面積 3.59ha 補助金額 11,390千円		
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		18,702	19,916	24,648	18,903	12,097	
直接経費 A		17,980	19,184	23,924	18,184	11,390	
直接経費の財源内訳		国・県	16,923	18,055	22,538	17,137	10,727
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,057	1,129	1,386	1,047	663		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	抜き伐り	ha	目標	7.35
	(指標の説明)		実績	4.71	5.98	7.17	4.52	3.59
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P134（農029）</p> <p>【事業の概要】 拡大する竹対策として、鳥取県環境保全税を財源に竹林の抜き取り等を実施し、竹林整備に取り組む。</p> <p>【事業の成果】 放置竹林整備の支援を行った。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">抜き取り面積</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">23,924千円</td> <td style="text-align: right;">7.17ha</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: right;">18,184千円</td> <td style="text-align: right;">4.52ha</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: right;">11,390千円</td> <td style="text-align: right;">3.59ha</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 放置竹林対策として有効であるため、継続して実施する。</p>		事業費	抜き取り面積	平成30年度	23,924千円	7.17ha	令和元年度	18,184千円	4.52ha	令和2年度	11,390千円	3.59ha
		事業費	抜き取り面積										
平成30年度	23,924千円	7.17ha											
令和元年度	18,184千円	4.52ha											
令和2年度	11,390千円	3.59ha											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	抜き伐り	64%	103%	124%	78%	62%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>冬季雪害により竹林が被害を受け施策が困難となった事案が発生したため。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p style="font-size: small;">鳥取県森林環境保全税を財源に、引き続き竹林対策を実施する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	016400	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	森づくり作業道整備事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	2104	農林水産業の振興				
施策の 目標の	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	森づくり作業道整備事業費		予算事業コード	01-05-02-16-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林所有者及び森林組合等
意図 (どのような状態 にするために)	森林整備に必要な路網の整備を促進し、低コストで効率的な林業生産活動につなげる。
手段 (どうするのか)	作業道を整備する事業者へ補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		作業道の整備に係る 経費助成	作業道の整備に係る 経費助成	作業道の整備に係る 経費助成	作業道の整備に係る 経費助成	作業道の整備に係る 経費助成	
年度別実績	作業道の整備に係る 経費助成の実施						
	作業道の整備実績 路線数 71路線 整備距離 39,219m 補助金額 8,683,635円	作業道の整備実績 路線数 54路線 整備距離 29,463m 補助金額 6,253,830円	作業道の整備実績 路線数 51路線 整備距離 38,433m 補助金額 9,507,470 円	作業道の整備実績 路線数 68路線 整備距離 46,371m 補助金額 15,664,400 円	作業道の整備に係る 経費助成の実施 【林業用専用道も含む】 作業道の整備実績 路線数 40路線 整備距離 53,824m 補助金額 16,776,252 円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,406	6,986	10,231	16,383	17,483	
	直接経費 A	8,684	6,254	9,507	15,664	16,776	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	635	
一般財源	8,684	6,254	9,507	15,664	16,141		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	作業道整備	km	目標	56	63	63	63	63
			実績	39.219	29.463	38.433	46.371	53.824
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次：当初予算・P135 (農032)          12月補正・P25 (農004)</p> <p>【事業の概要】          健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道の整備を促進する。          造林作業道整備の補助金(条件付きで普通林17%、保安林5%を上乗せ)          ※国、県の補助金と合わせると、補助率85%</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>9,507千円</td> <td>森林作業道</td> <td>51路線</td> <td>38,433m</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>15,664千円</td> <td>森林作業道</td> <td>68路線</td> <td>46,371m</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>16,776千円</td> <td>森林作業道</td> <td>39路線</td> <td>53,224m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>林業専用道</td> <td>1路線</td> <td>600m</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】          国・県の補助事業とあわせて、継続して補助を実施する。</p> <p>※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金</p>	平成30年度	9,507千円	森林作業道	51路線	38,433m	令和元年度	15,664千円	森林作業道	68路線	46,371m	令和2年度	16,776千円	森林作業道	39路線	53,224m			林業専用道	1路線	600m
	平成30年度	9,507千円	森林作業道	51路線	38,433m																
令和元年度	15,664千円	森林作業道	68路線	46,371m																	
令和2年度	16,776千円	森林作業道	39路線	53,224m																	
		林業専用道	1路線	600m																	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	作業道整備	70%	47%	61%	74%	85%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント          (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>森林整備に必要な路網の整備を促進するため、継続して支援を行う。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	016501	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	漁港施設維持管理事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	漁港施設維持管理事業費			予算事業コード	01-05-03-02-21-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	岩戸漁港、酒津漁港、船磯漁港、夏泊漁港、青谷漁港、長和瀬漁港の維持管理に関する事
意図 (どのような状態 にするために)	漁港及び関連施設の適正な維持管理を行い、安全安心な漁港利用に寄与する。
手段 (どうするのか)	第1種漁港の管理者として漁港施設の維持管理を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		施設等の維持管理	施設等の維持管理	施設等の維持管理	施設等の維持管理	施設等の維持管理	
年度別計画							
年度別実績							
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,348	73,360	83,317	45,057	47,763	
	直接経費 A	10,182	71,164	81,144	42,900	45,642	
	直接経費の財源内訳	国・県	297	7,989	9,551	3,365	3,600
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	54	3,253	3,274	3,394	3,288
	一般財源	9,831	59,922	68,319	36,141	38,754	
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	2,121		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	出漁日数(福部町)	日	目標	50	50	50	50	50
				実績	59	63	65	92
(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数								
2	出漁日数(気高町)	日	目標	150	150	150	150	150
				実績	175	167	185	184
(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数								
3	出漁日数(青谷町)	日	目標	130	130	130	130	130
				実績	155	155	172	155
(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数								





# 事務事業評価シート

事務事業コード	016600	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	市民農園設置事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成5年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市民農園設置事業費		予算事業コード	01-05-01-03-03-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	遊休農地及び作物の栽培に取り組みたい市民
意図 (どのような状態 にするために)	遊休農地を農園として貸し出すことにより、農地の有効活用と市民の健全なレクリエーション機会の創出と健康増進を図る。
手段 (どうするのか)	市内各地に市民農園を開設。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		市民農園の貸し出し 市民農園のPR	市民農園の貸し出し 市民農園のPR	市民農園の貸し出し 市民農園のPR	市民農園の貸し出し 市民農園のPR	市民農園の貸し出し 市民農園のPR
年度別実績	市民農園の貸し出し 7地区336区画 ・市報に掲載 (2月号) ・HP更新 (4月、7月、10月、 2月)	市民農園の貸し出し 7地区331区画 ・市報に掲載 (2月号) ・HP更新 (4月、9月、12 月、2月)	市民農園の貸し出し 7地区337区画 ・市報に掲載 (2月号) ・HP更新 (4月、3月)	市民農園の貸し出し 6地区279区画 ・市報に掲載 (2月号) ・HP更新 (4月、3月)	市民農園の貸し出し 6地区253区画 ・市報に掲載 (2月号) ・HP更新 (随時及び更新時期 の4月、3月)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	5,195	3,283	3,125	3,412	2,935
	直接経費 A	3,751	1,819	1,676	1,974	1,521
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	
その他	998	900	713	682	736	
一般財源	2,753	919	963	1,292	785	
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	1,414	
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				利用率	%	目標	90	90
1	(指標の説明)	実績	85.3	83.4	84.5	80.1	72.7	
		目標	0	0	0	0	0	
2	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農政係 0857-30-8302</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：掲載なし</p> <p>【事業の概要】 遊休農地の有効活用を図るとともに、農業を通じてレクリエーションの機会を市民に提供する。 開設地区：里仁・布勢・滝山・叶・祢宜谷・吉岡 開設区画数：全348区画（66㎡：94区画、33㎡：254区画）</p> <p>【事業の成果】 H30年度利用率 利用率84.4% 337区画／399区画（湖山地区閉園） R 元年度利用率 利用率80.1% 279区画／348区画 R 2年度利用率 利用率72.7% 253区画／348区画</p> <p>【今後の課題・方向性】 運営管理並びに維持管理の民間等への委託を検討。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	利用率	95%	93%	94%	89%	81%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>市民農園の需要に合わせた運営規模の見直しを行い、また、作付けに適した区画の提供を図る。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	016700	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	野生鳥獣被害防止事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	野生鳥獣被害防止事業費		予算事業コード	01-05-02-01-07-02	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	有害鳥獣等による農作物被害等への対策支援。
意図 (どのような状態にするために)	イノシシ等の被害対策を図ることにより、農林漁業者の生産活動や住民の安全な生活を確保する。
手段 (どうするのか)	被害防止対策として、侵入防止柵の設置に対する支援、鳥獣個体数減少対策としての捕獲奨励金の交付等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績	侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵)L=65,512m 捕獲奨励金 ・イノシシ3,222頭・アライグマ4頭・シカ566頭・ヌートリア452頭・カラス397頭 捕獲檻 97基	侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵)L=98,805m 捕獲奨励金 ・イノシシ1220頭・アライグマ5頭・シカ652頭・ヌートリア348頭・カラス383頭 捕獲檻 115基	侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵)L=32,798m 捕獲奨励金 ・イノシシ2,806頭・アライグマ4頭・シカ1,082頭・ヌートリア352頭・カラス395頭 捕獲檻 101基	侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵)L=19,158m 捕獲奨励金 ・イノシシ3,645頭・アライグマ12頭・シカ1,773頭・ヌートリア570頭・カラス460頭 捕獲檻 64基
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	103,794	88,679	100,784	107,837	120,255
	直接経費 A	63,308	47,815	61,075	68,332	79,182
	国・県	29,675	22,914	25,039	33,369	34,262
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	143	0	148	139	111
一般財源	33,490	24,901	35,888	34,824	44,809	
人件費 B	40,486	40,864	39,709	39,505	41,073	
職員数の内訳	正規職員	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50
	嘱託職員	4.00	4.00	4.00	4.00	5.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI] 狩猟者登録数	人	目標	407
			実績	463	439	485	477	481
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。							
2	[KPI] ニホンジカ捕獲頭数	頭	目標	700	800	800	800	800
			実績	924	1021	1551	2427	2846
	(指標の説明) 実績値は市から奨励金を支払う捕獲頭数と指定管理捕獲等事業(県事業)での捕獲頭数の合算							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P129(農020) 9月補正・P28(農003) 12月補正・P25(農003)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>イノシシ等による農作物への被害を防止し、本市の農業振興を図るため、有害鳥獣被害防止対策への支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲奨励金交付</li> <li>・侵入防止柵設置への補助(農業者等で組織する団体)</li> <li>・狩猟免許取得への補助(第1種銃猟、わな免許新規取得)</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な捕獲実績 イノシシ 3,097頭 アライグマ 6頭 シカ 2,259頭 ヌートリア 458頭</li> <li>・侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵) L=39,491m</li> <li>・狩猟免許新規取得等 3名</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>平成30年度 61,075千円 令和元年度 68,332千円 令和2年度 79,182千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>侵入防止柵の効果的な設置方法の普及、管理方法の徹底、捕獲効率向上、狩猟者育成、サル被害対策を行い、引き続き被害防止を図る。</p> <p>※その他財源の諸収入は、鹿野町イノシシ食肉解体処理施設管理費</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI] 狩猟者登録数	114%	105%	97%	95%	96%
	2	[KPI] ニホンジカ捕獲頭数	132%	128%	194%	303%	356%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	地域からの要望にほぼ対応できた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	捕獲頭数は、目標を大きく上回ったが、被害額が昨年を上回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	侵入防止柵の効果的な設置方法の普及、管理方法の徹底、捕獲効率向上、狩猟者育成、サル被害対策を行い引き続き被害防止を図る。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	016800	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域米販売拡大支援事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	米穀品質向上対策支援事業補助金		予算事業コード	01-05-01-03-49-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業協同組合
意図 (どのような状態 にするために)	地域の特色ある米を集荷・出荷する施設であるライスセンターを改修し、高い品質と量を確保し、有利販売を行って行く。
手段 (どうするのか)	老朽化しているライスセンターの再整備を行う経費に対し支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	ライスセンターの再整備1件	ライスセンターの再整備1件	ライスセンターの再整備1件	ライスセンターの再整備1件	育苗センターの再整備1件
年度別実績	河原ライスセンターの再整備の実施	気高・青谷ライスセンターの再整備の実施	豊実ライスセンターの再整備の実施	鳥取カントリーエレベーターの再整備の実施	鳥取育苗センターの再整備の実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,961	10,366	9,756	9,930	4,170	
	直接経費 A	9,600	10,000	9,394	9,570	3,816	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	9,600	10,000	9,394	9,570	3,816
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	361	366	362	360	354		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	鳥取市内に在るライスセンター等の改修	箇所	目標	1
	(指標の説明)		実績	1	2	1	1	1
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：掲載なし</p> <p>【事業の概要】 地域の特別栽培米等の特色ある米や安心安全な米の集荷量の増加を図り、地域の『冠米』として産地表示販売を行うことで優良企業との高値取引や直販率の向上に繋げるため、ライスセンターの再整備を行う鳥取いなば農業協同組合に対し支援する。</p> <p>【事業の成果】 鳥取いなば農協：鳥取育苗センター改修 3,816千円 平成30年度 9,394千円 令和元年度 9,570千円 令和2年度 3,816千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 稲作農家が減少していく中、JAグループを主体とした直販率（直接取引）の向上が不可欠であり、JAグループと行政が一体となって水田経営方針を検討し、耕作放棄地の解消や担い手育成など稲作農業の体質強化を推進していく。</p> <p>※その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	鳥取市内に在るライスセンター等の改修	100%	200%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>引き続きライスセンター等の改修を実施するとともに、施設の統廃合など効果的な集荷体制を検討していく必要がある。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	016900	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	園芸産地活力増進事業		所属名	農林水産部 農政企画課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目録	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名 園芸産地活力増進事業費			予算事業コード	01-05-01-03-48-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業協同組合、集落、生産者グループ、市が認める農業者（認定就農者は除く）
意図 (どのような状態にするために)	地域の特色を生かした特産物の導入や特産品の開発を行い、兼業農家や定年帰農者など新たな担い手の育成を図り、地域の活性化と農地の保全を目指す。
手段 (どうするのか)	生産体制づくり、販売を目的とした農産物や農産加工品の試作、商品開発、販路開拓、耕作放棄地の再生等に必要費用の一部を支援。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		共同機械等への投資 支援 新技術・新品種導入 支援 経営多角化支援	共同機械等への投資 支援 新技術・新品種導入 支援 経営多角化支援	共同機械等への投資 支援 新技術・新品種導入 支援 経営多角化支援	共同機械等への投資 支援 新技術・新品種導入 支援 経営多角化支援	共同機械等への投資 支援 新技術・新品種導入 支援 経営多角化支援	共同機械等への投資 支援 新技術・新品種導入 支援 経営多角化支援
年度別実績		補助:1件 補助:5件 補助:1件	補助:0件 補助:2件 補助:1件	補助:1件 補助:1件 補助:0件	補助:2件 補助:2件 補助:0件	補助:1件 補助:1件 補助:0件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,840	2,760	3,222	12,011	11,957	
	直接経費 A	4,118	2,028	2,498	11,292	11,250	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,118	2,028	1,666	7,528	7,500
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	3,540	3,667
一般財源	0	0	832	224	83		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	増反面積	a	目標	40	40	40	40	40
				実績	46.5	129.4	3	35
(指標の説明) 園芸品目の作付増反面積								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P125（農012）</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発展・成長タイプ 主要園芸品目に係る共同機械や出荷調製機械等の導入支援 (補助率1/2 補助上限30,000千円/事業実施主体)</li> <li>○中山間地域等特産物育成タイプ 野菜等の生産体制づくりや新技術・新品種の導入支援 (補助率1/2 補助上限3,750千円/事業実施主体・最長2年間)</li> <li>○軽労化支援タイプ 作業の軽労化・効率化のための無動力アシストスーツ等の導入支援 (補助率1/2 補助上限1,500千円/事業実施主体)</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発展・成長タイプ 令和2年度 1件(らっきょう排水処理施設機能向上支援)</li> <li>○中山間地域等特産物育成タイプ 令和2年度 1件(桑導入支援)</li> <li>○軽労化支援タイプ 令和2年度 0件</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>平成30年度 2,498千円 令和元年度 11,292千円 令和2年度 11,250千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 県と調整しながら継続して実施。 ※その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	増反面積	116%	324%	8%	88%	104%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>県と連携を図りながら、計画的に事業を実施していく。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	017000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地域米消費拡大対策事業		所属名	農林水産部 農政企画課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成14年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目録	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人	予算事業コード	01-05-01-03-05-01
予算	予算事業名	地域米消費拡大対策事業費				

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学生
意図 (どのような状態 にするために)	小学生の食と農に対する関心を深め、米の消費拡大につなげる。
手段 (どうするのか)	米づくり体験を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		学童農園実施委託 米料理教室実施	学童農園実施委託 米料理教室実施	学童農園実施委託 米料理教室実施	学童農園実施委託 米料理教室実施	学童農園実施委託 米料理教室実施	学童農園実施委託
事業費	年度別実績	学童農園実施委託 実施団体数:25団体 米料理教室実施 実施回数:27回	学童農園実施委託 実施団体数:25団体 米料理教室実施 実施回数:25回	学童農園実施委託 実施団体数:23団体 米料理教室実施 実施回数:22回	学童農園実施委託 実施団体数:20団体 米料理教室 未実施	学童農園実施委託 実施団体数:22団体	
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費	事業費(A+B)	2,027	2,049	1,983	1,275	1,353	
	直接経費 A	1,305	1,317	1,259	556	646	
	直接経費の財源内訳	国・県	369	445	417	174	252
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	936	872	842	382	394		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	取組小学校数	校	目標	25
			実績	25	25	23	20	22
	(指標の説明) 取組小学校数(米づくり体験学童農園)							
2	取組回数	回	目標	25	25	25	25	0
			実績	27	25	22	0	0
	(指標の説明) 取組回数(米料理教室)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

<b>事務事業の実施概要</b>	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304
	【10次総の施策体系】2104
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P122(農006)
	【事業の概要】 学校教育分野において農作物の消費拡大及び食育の推進を図るため、小学校及び義務教育学校において農業体験を実施する。
	【事業の成果】

	農業体験	実施校	米料理教室実施校
平成30年度	1,259千円	23校	17校
令和元年度	556千円	20校	(事業廃止)
令和2年度	646千円	22校	(事業廃止)

  

【今後の課題・方向性】 次世代を担う児童が様々な農作物の農作業を体験することにより、本市の農業振興並びに農作物の消費拡大を図るため、継続して実施する。
--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	取組小学校数	100%	100%	92%	80%	88%
	2	取組回数	108%	100%	88%		
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>年度計画の進捗度</b>  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<b>事業の成果</b>  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

<b>今後の方向性</b>	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

多くの小学校及び義務教育学校での取組が進むよう、関係機関と連携をとりながら事業を進めていく。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	017100	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地産地消推進の店認証事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の まちづくりの 政策 施策	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標の	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	地産地消推進の店認証事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-05

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地元産の農林水産物を積極的に活用する飲食店等
意図 (どのような状態 にするために)	地元農林水産物を活用していることを市民へアピールし、生産と消費の拡大を図る。
手段 (どうするのか)	地産地消の店認定及び認定証の交付並びにホームページへの掲載を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	地産地消の店認定及び認定証の交付やHPへの掲載を行う。	地産地消の店認定及び認定証の交付やHPへの掲載を行う。	地産地消の店認定及び認定証の交付やHPへの掲載を行う。	地産地消の店認定及び認定証の交付やHPへの掲載を行う。	地産地消の店認定及び認定証の交付やHPへの掲載を行う。
		「地産地消の店」認定83件	「地産地消の店」認定84件	「地産地消の店」認定89件	「地産地消の店」認定88件	「地産地消の店」認定88件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,445	1,465	1,743	1,613	1,506	
	直接経費 A	1	1	294	175	92	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	97	55	36
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1	1	197	120	56		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	1,414		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	鳥取市地産地消の店、認定件数	件	目標	90
	(指標の説明) 26年度認定実績		実績	83	84	89	88	88
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-30-8282</p> <p>【10次総の施策体系】 2103</p> <p>【事業の概要】          地元の農林水産物を市内の飲食店が積極的に活用することにより地産地消を市民にアピールするとともに生産と消費の拡大を図るため、一定基準を満たした飲食店等を「鳥取市地産地消の店」として認定する。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>認定店数</td> <td>89店</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>認定店数</td> <td>88店</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>認定店数</td> <td>88店</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】          地産地消に対する意識を維持・向上させるため、様々な媒体を利用しながら、引き続き地産地消の店をPRしていく。</p>	平成30年度	認定店数	89店	令和元年度	認定店数	88店	令和2年度	認定店数	88店
平成30年度	認定店数	89店								
令和元年度	認定店数	88店								
令和2年度	認定店数	88店								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	鳥取市地産地消の店、認定件数	92%	93%	99%	98%	98%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	引き続き、様々な媒体を利用しながら地産地消の店をPRしていく。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	017200	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	食育アドバイザー派遣事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成15年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	その他
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	食育アドバイザー派遣事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-04

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	食育アドバイザー
意図 (どのような状態にするために)	小・中学生、保育園児・保護者や市街地の消費者に、地元農林水産物や地域の食材を使った伝統料理等に対する理解を深めてもらうことで、食文化の継承と地産地消の促進を図る。
手段 (どうするのか)	小・中学校等での食育教育や公民館主催の料理講習など、各種団体が行う地産地消等に関する研修会などに「食育アドバイザー」を派遣する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		「食育アドバイザー」の派遣	「食育アドバイザー」の派遣	「食育アドバイザー」の派遣	「食育アドバイザー」の派遣	「食育アドバイザー」の派遣	「食育アドバイザー」の派遣
年度別実績	「食育アドバイザー」の派遣 51件 878名参加	「食育アドバイザー」の派遣 50件 903名参加	「食育アドバイザー」の派遣 53件 861名参加	「食育アドバイザー」の派遣 25件 397名参加	「食育アドバイザー」の派遣 11件 230名参加		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,707	1,734	1,719	1,573	1,479	
	直接経費 A	263	270	270	135	65	
	直接経費の財源内訳	国・県	74	91	89	42	25
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	189	179	181	93	40		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	1,414		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				派遣回数	回	目標	47	47
1	(指標の説明) 平成27年度実績	実績	51	50	53	25	11	
		研修会等への参加人数	人	目標	846	846	846	846
2	(指標の説明) 平成26年度実績	実績	878	903	861	354	230	
		目標	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

<b>事務事業の実施概要</b>	【問合せ先】 地域経済係 0857-30-8282
	【10次総の施策体系】 2104
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P94（経003）
	【事業の概要】 優れた技術を持つ農林水産業者、農産物加工・地域の食材を使った料理の普及に取り組んでいる人たちを「食育アドバイザー」として選定し、小・中学校や地区公民館が開催する料理教室など食育に関する研修会に講師として派遣し、食と農林水産業への理解を深める。 食育アドバイザー謝礼：派遣1回当たり 5千円/人
	【事業の成果】 平成30年度 登録人数 14人 派遣回数 53件 研修会参加人数 861人 令和元年度 登録人数 11人 派遣回数 25件 研修会参加人数 354人 令和2年度 登録人数 11人 派遣回数 11件 研修会参加人数 230人
【今後の課題・方向性】 食育アドバイザーの登録人数の増大を図りながら事業を継続し、地元食材を活用した伝統料理等への理解を深め、地産地消意識の醸成を図る。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	派遣回数	109%	106%	113%	53%	23%
	2	研修会等への参加人数	104%	107%	102%	42%	27%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、派遣の申込件数が少なかったため。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、派遣の申込件数が少なかったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

地産地消の推進は地域内経済循環の促進及び第1次産業の振興に資するため、事業を継続していく。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	017301	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	農産物生産振興事業(らっきょう生産振興大会)		所属名	福部町総合支所 福部町総合支所産業建設課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	らっきょう生産振興大会助成事業			予算事業コード	01-05-01-03-31-11

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取いなば農業協同組合。
意図 (どのような状態 にするために)	生産者の技術向上及び経営意欲の高揚を促進し、地域特産物の生産振興と産地の維持発展を図る。
手段 (どうするのか)	らっきょう生産振興大会経費のうちの2分の1を乗じて得た額を予算の範囲内で補助。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	らっきょう生産振興大会開催経費助成	らっきょう生産振興大会開催経費助成	らっきょう生産振興大会開催経費助成	らっきょう生産振興大会開催経費助成	らっきょう生産振興大会開催経費助成
年度別実績	らっきょう生産振興大会開催経費助成	らっきょう生産振興大会開催経費助成	らっきょう生産振興大会開催経費助成	らっきょう生産振興大会開催経費助成	新型コロナウイルス流行を考慮しらっきょう生産振興大会が開催されなかったため、実績なし		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	554	623	533	531	0	
	直接経費 A	193	257	171	171	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
人件費 B	361	366	362	360	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	らっきょう栽培面積	㎡	目標	100
	(指標の説明)		実績	114	113	115	114	112
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

## 5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 福部町総合支所 産業建設課 (0857-30-8666)</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 平成4年度から毎年開催されている。また、「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」が、平成28年3月農林水産省から地理的表示保護制度(GIマーク)に登録された。GIマーク登録は、生産者の自信と生産基盤の強化につながっている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 らっきょう生産に一層の意欲向上を図り、さらなるブランド化の定着を目指す。</p> <p>【事業内容】 らっきょう生産振興大会経費のうち2分の1を乗じて得た額を予算の範囲内で補助。</p> <p>【事業実績】 平成30年度 171千円 平成31年度 171千円 令和2年度 0千円(新型コロナウイルスの影響により中止)</p> <p>【今後の取り組み】 らっきょうの継続的な産地の維持発展のため、らっきょう生産振興大会の今後の一層の充実を図る。</p>
-----------	---

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	らっきょう栽培面積	114%	113%	115%	114%	112%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	新型コロナウイルス流行を考慮し、らっきょう生産振興大会が開催されなかったため。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	生産者の技術向上及び意欲の高揚を促進し、地域特産物の生産振興と産地の維持発展を図るために、是非とも必要な事業である。		





5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 「佐治ふるさと祭り」は昭和57年から佐治地域の秋の収穫祭として開催しており、平成27年からは、公民館祭りと共同開催としている。また、令和元年度は、小学校の学習発表会も合同で開催した。</p> <p>【事業内容】 佐治地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品の販売、郷土芸能の発表、公民館事業の展示等を中心とした「佐治ふるさと祭り」を毎年開催している。地域の団体が構成する実行委員会が主催。佐治地域内外の多くの人の参加があり、佐治地域の秋のイベントとして定着している。 主催 佐治ふるさと祭り実行委員会</p> <p>【事業実績】 平成29年度 1,350千円 入込客数800人 平成30年度 1,350千円 入込客数800人 令和元年度 1,350千円 入込客数800人 令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>【今後の取組】 佐治地域の活性化策として、より一層の充実を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	参加者、来場者数	100%	100%	100%	80%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>「佐治ふるさと祭り」は佐治地域の秋のイベントとして定着して、佐治小学校の学習発表会も同時開催するなど町民の滞在時間も長くなっており、今後、更に佐治町らしさを高め、また市民ニーズに合わせて継続して改善していく必要がある。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	036100	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取市6次産業化ネットワークシステム運用事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	外部委託
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	鳥取市6次産業化ネットワークシステム運用事業費			予算事業コード	01-05-01-03-54-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農林漁業者、企業等
意図 (どのような状態 にするために)	6次産業化の創出と販路の拡大
手段 (どうするのか)	ネットワークシステムを構築・運用しマッチングを図る

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			6次産業化システム マッチング 3件	6次産業化システム マッチング 3件	6次産業化システム マッチング 3件	
	年度別実績			6次産業化システム マッチング 1件	6次産業化システム マッチング 0件	6次産業化システム マッチング 0件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	1,115	1,062	1,212	
	直接経費 A	0	0	753	702	858	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	753	702	858	
人件費 B	0	0	362	360	354		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	6次産業化システムマッチング件数	件	目標	0	0	1	1	1	
				実績	0	0	1	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：掲載なし</p> <p>【事業の概要】 農林水産物の生産情報や食品製造業の持つ加工技術、商品開発のアイデアやノウハウ等、生産・加工・流通・販売に関する「一元的に集約・管理・提供できる」ネットワークシステムを構築し、地域内外の企業間での自由な情報交換が可能となり、マッチングの促進による6次産業化の取組機会の創出と販路拡大を図る。 6次産業化ネットワークシステムの運用：平成30年度運用開始 ・保守委託料 ・マッチング交流会の開催 ・システムマッチング促進営業等</p> <p>【事業の成果】 令和元年度マッチング件数 実績なし 令和2年度マッチング件数 実績なし</p> <p>【今後の課題・方向性】 1次生産者から2次・3次産業者の登録者数を増やし、魅力あるマッチングシステムにしていくことが必要であり、引き続き、県産業振興機構や鳥取商工会議所等と連携し、営業活動を進めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	6次産業化システムマッチング件数			100%		
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>サイトへのアクセスはあったものの、マッチングにつなげることができなかった。マッチングにつなげるため広く営業活動を行っていく。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>1次生産者から2次・3次産業者の登録者数を増やし、魅力あるマッチングシステムにしていくことが必要であり、引き続き、鳥取市6次産業化推進サポートチーム(県産業振興機構や鳥取商工会議所等)で情報を共有し、営業活動を進めていく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	036200	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	次世代農業推進事業		所属名	農林水産部 農政企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成30年度 ~ 令和4年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m <sup>3</sup>	58,000m <sup>3</sup>	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	次世代農業推進事業費		予算事業コード	01-05-01-03-37-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業者等
意図 (どのような状態 にするために)	農業者等に対するAIやIoT技術を活用したスマート農業の普及啓発や農業者等が実施する実証事業に対して支援することで、効率的で生産性の高い農業の実現を図る。
手段 (どうするのか)	スマート農業セミナーの開催やスマート農業の実証実験に対する支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			スマート農業セミナーの開催 スマート農業技術実証事業	スマート農業セミナーの開催 スマート農業技術実証事業	スマート農業セミナーの開催 スマート農業技術実証事業	
	年度別実績			スマート農業セミナーの開催 2回/年 スマート農業技術実証事業 3デバイス(水田水管理システム、有害鳥獣捕獲通知システム、ハウス内環境監視システム)	スマート農業セミナーの開催 1回/年 スマート農業技術実証事業 3デバイス(水田管理システム、有害鳥獣捕獲通知システム、ハウス内環境監視システム)	スマート農業セミナーの開催 未実施 スマート農業技術実証事業 2件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	14,291	42,121	45,004	
	直接経費 A	0	0	12,842	40,683	43,590	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	2,340	20,248	21,683
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	3,595	4,420
一般財源	0	0	10,502	16,840	17,487		
人件費 B	0	0	1,449	1,438	1,414		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	[KPI] 次世代農業実施経営体	件	目標	0	0	0	2	3	
				実績	0	0	0	2	3	
	(指標の説明) 目標値は2か年累計: H30R1、H29は0件									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P124（農010）</p> <p>【事業の概要】 先進的な農業生産技術やICTを活用した新技術の導入による作業の効率化・軽減化、また、自然エネルギーの農業への活用研究などに取り組むことにより、新たな農業の担い手確保と、本市農業の振興を図る。</p> <p>【事業の成果】 スマート農業デバイス（水田管理システム、ハウス内環境監視システム）実証の実施、鳥取県・鳥取大学等との共同による洗いらっきょう根葉切り調製機の開発、先進的な農業生産技術やICTを活用したスマート農業技術の開発及び実証の取組への支援を行った。</p> <p>&lt;実績&gt; 令和元年度 40,683千円 令和2年度 43,590千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 スマート農業技術の普及に引き続き努めるとともに、スマート農機等の導入経費に対する支援策を検討する。</p> <p>※その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]次世代農業実施経営体				100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>スマート農業技術の普及に引き続き努めるとともに、スマート農機等の導入経費に対する支援策を検討する。</p>		